

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす

# FINE FINET

ファイネット発行

2022

Vol.59

May

[FINET User's Voice]

## 卸7社合同による EDI拡大に向けた取り組み

伊藤忠食品株式会社様、加藤産業株式会社様、  
国分グループ本社株式会社様、株式会社日本アクセス様、  
日本酒類販売株式会社様、三井食品株式会社様、三菱食品株式会社様

[FINET INFORMATION]

## PSTNマイグレーションに伴う 通信手順の移行について

～JCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順を  
ご利用のユーザー様へ～





# FINET User's Voice

## 卸7社合同による EDI拡大に向けた取り組み

伊藤忠食品株式会社様、加藤産業株式会社様、国分グループ本社株式会社様、  
株式会社日本アクセス様、日本酒類販売株式会社様、三井食品株式会社様、三菱食品株式会社様

リモートワークの普及やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進など、酒類・加工食品業界を取り巻く環境は大きく変化しており、これらの変化に対応するためには業務のデジタル化、ペーパーレス化が必要不可欠です。伊藤忠食品様、加藤産業様、国分グループ本社様、日本アクセス様、日本酒類販売様、三井食品様、三菱食品様の7社は非競争領域である仕入先とのEDIを一層推進すべく、2021年3月から合同での取り組みを行っておられます。今回は各社のご担当者様にお集まりいただき取り組みの経緯や今後の展望についてお話を伺いました。(本文敬称略)

伊藤忠食品株式会社  
情報システム本部 情報システム部  
システム開発チーム 課長補佐  
松村 建吾 様

加藤産業株式会社  
情報システム本部  
情報システム部 係長  
森 拓也 様

国分グループ本社株式会社  
サプライチェーン統括部  
業務改革推進部 副部長  
齊藤 暁祐 様

株式会社日本アクセス  
ICT運用部 運用管理課  
中川 健太 様

日本酒類販売株式会社  
情報物流本部 情報統括部 担当課長  
鳴原 圭子 様

三井食品株式会社  
システム本部 業務システム統括部  
森川 慎一 様

三菱食品株式会社  
商品統括 マスタ管理グループ  
企画ユニット ユニットリーダー  
三上 政男 様

※本取材は2022年1月にオンラインにて実施いたしました。

## これまでの取り組み

—これまでのEDI化に向けた取り組みについてお聞かせください

**加藤産業 森** われわれ卸各社はこれまで、日々の商談に加え文書発信など仕入先様に対して個別にEDI化に向けた依頼をおこなってまいりましたが、仕入先様によっては卸1社では費用対効果が見込めないなどお断りされることもあり、個別でのアプローチに難しさを感じるがありました。また、1つの仕入先様に対して卸各社がそれぞれ別のタイミング、方法でアプローチを行っていたため、仕入先様にとっても動きにくい状況であったと思います。

—やはり仕入先様とEDI化できていないと大変なのでしょうか

**日本アクセス 中川** 卸にとっては仕入先様から出荷案内データを受領できれば請求・支払業務において卸側実績との照合処理が自動化できるため業務負荷軽減につながります。一方で、出荷案内データを受領できなければ手作業での照合業務が発生し大きな業務負荷が掛かってしまいます。



**三菱食品**

三上 政男 様

三菱食品 三上 発注についてもFAXで行なうことでリファックスを受領・仕分けする手間が掛かりますし、通信費などのコストも掛かります。仕入先様にとっても受発注データを受領されることで受注入力、リファックスなどの業務負荷軽減につながります。双方で発生している入力業務や照合業務、紙でのやり取りをなくせることはEDI化する大きなメリットであると考えています。

**伊藤忠食品 松村** FAX発注においては通話中による不達エラーも日々発生しており、それらが解消されることも双方にとって大きなメリットですね。現場

で手作業が発生することにより出社対応を余儀なくされていますが、EDI化が進めばリモートワークももっと推進しやすくなると思います。

## 非競争領域での協調

—今回の取り組みに至った経緯についてお聞かせください

**国分グループ本社 齊藤**

仕入先様とのEDI化は長年のテーマではあったものの、どの仕入先様からアプローチすれば良いかなど様々な課題を抱えていました。一昨年新型コロナウイルス感染症拡大以降、リモートワークが普及・定着し、FAX発注や出荷案内書



**KOKUBU**

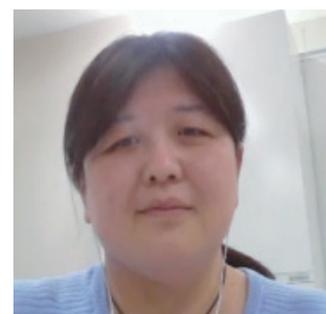
齊藤 暁祐 様

などの紙をデータ化することが卸各社の重要なテーマとなっています。一方で、仕入先様とのEDI推進については非競争領域であり、個別にアプローチするのではなく卸各社が協調し業界全体の動きとして標準化・効率化を目指すべきという主旨に6社(\*)が賛同し、ファイネットには本取り組みにおける橋渡し役を担っていただきました。対象企業の選定、活動内容の決定などの準備期間を経て、2021年3月より本格的な活動を開始しました。

(\*)開始当初は日本酒類販売を除く6社でスタート

—日本酒類販売様は2021年7月から本取り組みに参加されましたが、どのようなきっかけだったのでしょうか

**日本酒類販売 鳴原** 先に取り組まれていた6社より、仕入先の立場として協力依頼文書(詳細後述)を受け取ったことがきっかけです。弊社も仕入先様に対してEDI化の依頼を行ってきましたが、やはり個別のアプローチではEDI化が進みにくいことを感じておりました。そこ



**日本酒類販売株式会社**

鳴原 圭子 様

でファイネットを通じて参加を打診し、本取り組みに合流させていただくこととなりました。

### ——準備期間で実施された対象企業の選定はどのように行われたのでしょうか

**三井食品 森川** まずは卸各社でEDI化を希望する仕入先様を選定・リスト化し、ファイネットに取り纏めてもらいました。ちなみに三井食品では伝票枚数や営業部門からの依頼をもとに業務効率化の効果が高い順に選定を行いました。特に出荷案内データについては、社内システムに連携し直送計上等に利用しており、いただいたデータがそのまま効果につながるためです。

**松村** 各社のEDI化希望リストを集計し、仕入先様ごとに希望する卸の重複有無を確認しました。本取り組みは卸が合同でアプローチすることが主旨であることから、卸1社のみが希望する仕入先様は対象外とし、2社以上の希望が重複する仕入先1,528社を対象として選定いたしました。

## 合同でのアプローチを開始

### ——具体的な活動についてお聞かせください



森 拓也様

**森** 前述の通り選定した1,528社の企業について、「①ファイネットに加入済みで他の卸とEDIを行っている企業(376社)」と、「②ファイネットに加入済みだがEDI未実施、もしくはファイネット未加入の企業(1,152社)」に分類いたしました。そのうえで、

2021年3月に①の企業に対して、卸連名で受発注・出荷案内のEDI化に向けた協力依頼文書を発信し、期日までに275社の仕入先様より回答をいただきました。

**嶋原** その後、回答いただいた仕入先様へのアプローチと並行して、2021年9月に②の企業を対象とした合同説明会を開催いたしました。コロナ禍につき

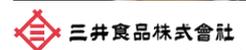
オンラインで視聴いただく形式となりましたが、卸各社の主催会を設定し計7回の開催で473社1,075名の方にご出席いただきました。

**齊藤** 改めて多くの仕入先様にご協力をいただき誠にありがとうございました。2021年はこれら2つの活動を経て、1,528社のうち205社より「EDI対応可能」、211社より「前向きに検討する」と回答をいただきました。これらの仕入先様と順次EDI化に向けて打合せを進めており、既に63社の仕入先様が我々7社のいずれかと新たにEDIを開始されています。

### ——実際に合同でアプローチを行ってみて変化はありましたか

**三上** 仕入先様へアプローチを行う際、「この先御社との継続的な取引を考えた時にこのまま紙でのやり取りを続けることは双方にとって発展の妨げになってしまいます。業界全体としてEDI化は推進すべきものです。是非この機会に一步踏み出しましょう。」と問い掛けをしています。本取り組みを行う前までは、「業界」という表現を使ったところで、一卸の呼びかけに過ぎず説得力を持たすことが出来ませんでした。しかし本取り組み開始以降、卸各社の総意であることをお伝えすることによって、仕入先様の意識に変化が出てきたように思えます。一部システム開発等の負担も発生する場合がありますが、「ほぼすべての卸と同じ仕組みで運用することができる」という後ろ盾により仕入先様の社内でも話が通りやすくなっていると感じています。

**森川** より業務効率化の効果が高い仕入先様と、スムーズにやり取りできるようになった点も大きな変化だと思います。これまでは仕入先様へのアプローチは営業部門が実施し、お互いの営業部門間でやり取りを行なった後にシステム部門



森川 慎一様

間でやり取りを行うことが多く、EDIを開始するまでに時間を要することが課題でした。しかし、今回の取り組みではすでにファイネットを経由してEDIを行っている企業も多く、直接システム部門間でやり取りすることでスムーズに進められるようになりました。

#### ——仕入先様の反応はいかがですか

**中川** 「今回の依頼がEDI化に向けて取り組む良いきっかけとなった」「紙からデータに移行できたことで業務負荷が大幅に軽減した」などの声をいただいています。仕入先様にとっても効率化につながっていることが実感できそのあたりも本取り組みの成果であると感じています。

#### ——みなさまの社内での変化はありましたか

**森** 弊社では本取り組みに仕入部門の担当役員も関与しており、改めてファイネットの存在を理解する事により、商談時に受発注・出荷案内でEDI実施済みの仕入先様に対し、販売実績や販促金の活用など積極的に依頼するようになりました。

**嶋原** 弊社ではこれまで受発注部門と経理部門でEDI化したい仕入先様が違っていました。今回の取り組みにより部門間で情報を共有し、協力しながらEDI化を進められるようになりました。

#### ——本取り組みに対する評価をお聞かせください



ACCESS  
日本アクセス

中川 健太様

**中川** 卸7社合同でEDI拡大に向けた取り組みをすることで、他卸でEDI化できているが、弊社ではEDI化できていない仕入先様が明確になる等、比較的導入がスムーズに進むと思われる仕入先様が洗い出されました。そういった情報を各社

間で共有化できたことは大きなメリットだと思います。

**齊藤** 仕入先様のEDI実施状況、EDI化に向けた反応を把握できたことや、業界としての動きであるこ

とを仕入先様にお伝えすることができたことは今後につながる一歩になったと思います。

### 今後に向けて

——EDI対応に前向きな仕入先様がとても多いことがわかりましたが、これからどのような取り組みをされる予定でしょうか

**松村** このような状況下につきEDI対応を前向きに検討される仕入先様は確実に増えています。引き続き仕入先様からの依頼に対応しつつ、卸からのアプローチも継続して取り組んでいきます。現在多くの依頼をいただいております。対応に時間を要してしまうケースもござい



ISC 伊藤忠食品  
松村 建吾様

**森** 一部でEDIに対応できない仕入先様もいらっしゃいますが、いつまでも紙での業務を続けることはお互いに非効率ですので、引き続き粘り強くアプローチし続けます。

#### ——最後に今後に向けてのメッセージをお願いします

**三上** 目指す姿は100%のEDI化です。この目標を達成すべく仕入先様との話し合いを続けていきます。具体的には、前向きな回答をいただいた仕入先様を中心に1社1社打ち合わせを行い、着実にEDI化を実現していきます。EDIと聞くと非常に難しく大掛かりなシステム対応が必要だと思ってしまう方もいらっしゃるかと思いますが、Webサイトを経由したデータ送受信の方法などパソコン1台から始めることも可能です。仕入先様におかれましても「EDI化を実現するにはどうしたらよいか」という前向きな視点でご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

——本日は貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。

# PSTNマイグレーションに伴う 通信手順の移行について

～JCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順を  
ご利用のユーザー様へ～

## PSTNマイグレーションによるEDIへの影響

PSTNマイグレーションとは、公衆交換電話網 (Public Switched Telephone Network) から移行 (Migration) することで、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社 (以下、NTT東西) がサービスネットワークの根幹部分で使用していた従来の公衆交換電話網から、光ブロードバンドをベースとしたIP網への移行を行う取り組みのことです。

NTT東西からは2017年10月17日に以下の内容が公表されております。また、この公表の中で補完策の提供期間が、2024年1月～2027年頃を目途としていることも謳われております。しかし、この補完策は、NTT設備内でPSTNとIP網の中継網にISDN回線のデータ方式とIPのデータ方式を変換する処理が入るため、現在の処理と比較し遅延が発生することが判明しています。

### NTT東西からの公表内容

- ① IP網への移行を2024年1月より開始すること。また、同時期にINSネット(デジタル通信モード)を提供終了すること。
- ② IP網移行後のINSネットワーク上のデータ通信(補完策)を、2024年1月より提供すること。
- ③ IP網移行後の固定電話通話料が、全国一律8.5円/3分(税抜)になること。

さらにNTT東西以外のISDNサービスをご利用の場合には、他通信事業者発・NTT着のIP網への移行が2023年1月より開始される見込みであることから、その移行完了以降は処理遅延が発生いたします。

2024年1月からはNTT東西を含めた全ての電話回線のデータ交換で処理遅延が発生し、通信品質が低下することから、弊社ではJCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順のサポート期限を以下とさせていただきます。

表1.各通信手順のサポート期限

通信手順	サポート終了日	ステーション追加申込受付終了日
JCA手順、全銀協BSC手順	2022年11月末	2021年11月末(既に受付終了)
全銀協TCP/IP手順	2023年11月末	2022年11月末

継続して弊社VANサービスをご利用いただくため、サポート終了までの間に「インターネット手順(JX手順、ebXML MS 2.0手順、AS2手順)」もしくは「専用線接続サービス※」への移行をお願いいたします。

なお、これらに加え、新たな通信プロトコルとして、SFTPの追加を2022年10月頃に予定しています。

詳細につきましては、別途リリースまでにご案内いたします。

※専用線接続サービスは有償にてユーザー様拠点と弊社VANを接続するための独立した閉域ネットワークを提供するものです。専用線接続サービスではインターネット手順に加え、全銀協TCP/IP手順・広域IP網(従来のPSTN網ではなく、広域IP網を利用した全銀協TCP/IP手順)、FTPをご利用いただけます。

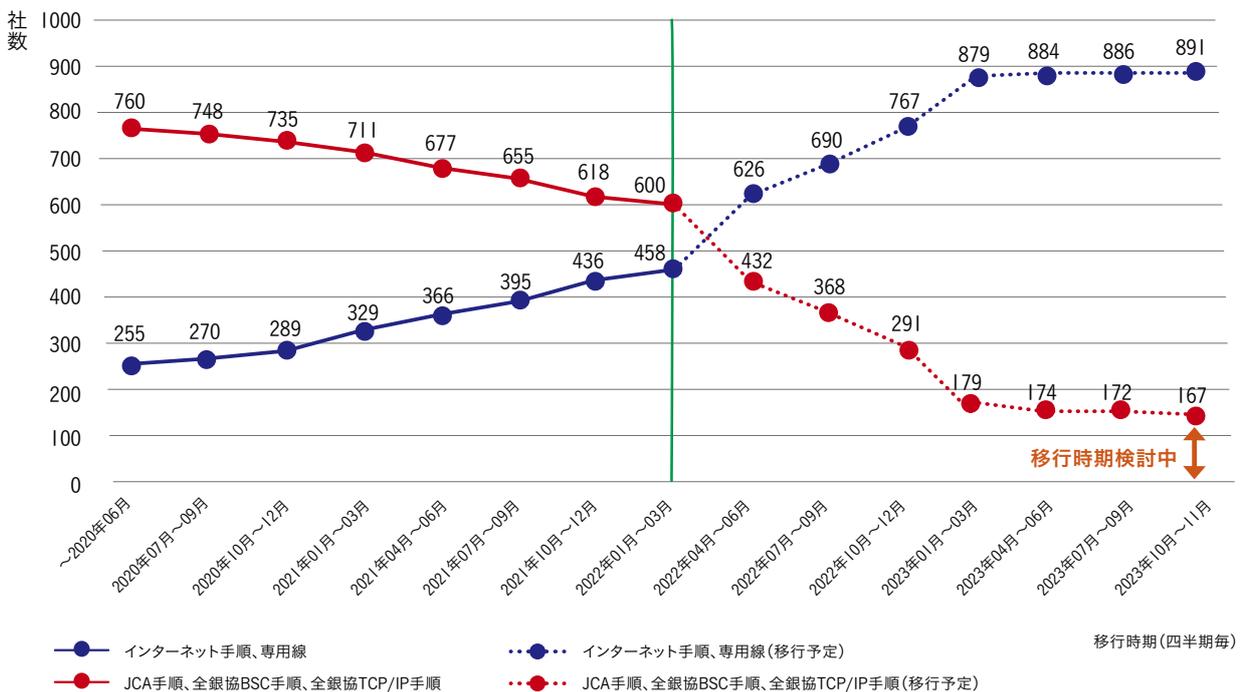
## 通信手順移行の進捗について

弊社では通信手順の移行が必要なJCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順をご利用いただいているユーザー様の移行状況調査を目的として、2020年6月にアンケートを実施し、その結果を踏まえて継続的に移行進捗状況の確認をさせていただいております。

図1は移行予定が決定しているユーザー様の移行進捗状況を示したものです。2022年11月にJCA手順、全銀協BSC手順のサポートを終了することから、2022年中には多くのユーザー様が移行を予定されておりますが、約170社のユーザー様は移行時期が決定していない状況です。

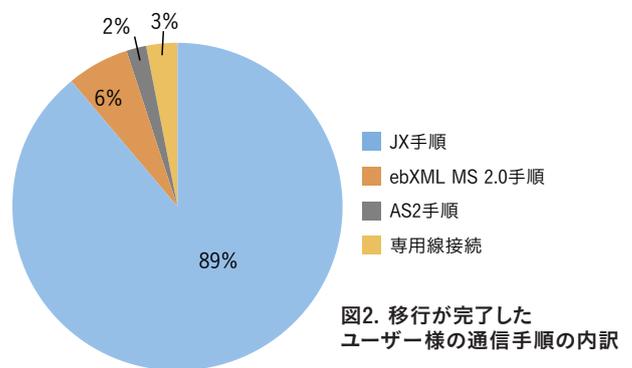
移行時期が決定していないユーザー様におかれましては、移行時期のご検討をよろしくお願いいたします。弊社といたしましても、サポート終了までに全てのユーザー様が移行いただけるよう、引き続きサポート終了の周知と、移行のお願いを継続してまいります。

図1.通信手順の移行進捗状況



既に移行が完了したユーザー様の通信手順の内訳は図2の通りです。約9割のユーザー様が、導入のしやすいJX手順を選択されています。

通信手順の移行につきましては流通業界全体の課題となっています。また、他業界も同様の動向となっていることから、多くの企業が期限間際に駆け込み的に対応することが予想され、ITベンダーの人材不足により対応が遅れが出る可能性があるとの報道もあります。早期に移行する通信手順の決定と通信環境準備のご検討をお願いいたします。



移行に際し、ご不明な点がございましたら、以下までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク  0120-091-094 (年中無休 7:30～23:00)

Email: fcs@support.finnet.co.jp

## FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET (ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら、以下までご連絡ください。

## 【連絡先】

株式会社ファイネット 営業推進部 e-mail : marketing-promotion@finet.co.jp

## Windows10版Internet Explorer 11 のサポート終了に関するお知らせ

マイクロソフト社よりWindows10版Internet Explorer 11 (IE11) のサポートを2022年6月15日で終了するとの発表がありました。

弊社WebサービスではIE11以外のブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox) もご利用いただけますので、他のブラウザへのお切り替えをお願いいたします。

## 【お問い合わせ先】

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)

## ファイネットオフィス移転のお知らせ

このたびファイネットはオフィスを移転し2022年3月22日より業務を開始しました。これを機に社員一同決意を新たにしてさらなる業界貢献に励む所存でございます。何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 移転先

〒103-0027

東京都中央区日本橋三丁目9番1号

日本橋三丁目スクエア6階

TEL:03-5204-2600 (代表)

## 最寄り駅:

東京メトロ銀座線・東西線、

都営地下鉄「日本橋駅」から徒歩2分

JR「東京駅」八重洲北口から徒歩7分



**FINE FINET** (ファイン・ファイネット)

Vol.59 2022 May 2022年5月1日発行

[発行] (株)ファイネット 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1 日本橋三丁目スクエア6階

TEL.03-5204-2600 [編集・発行責任者] 久我 章良



<https://www.finet.co.jp>

